

北陸新幹線の
最果ての聖地で
感じる旅のチカラ

三方五湖(美浜町、若狭町)



2024年1月下旬「青々吉日」公式サイトオープン
aoaokichijitsu.jp

福井県嶺南振興局二州企画振興室 tel.0770-22-0002



公式Instagram



青葉山/高浜町



水晶浜/美浜町



瓜割の滝/若狭町



気比の松原/敦賀市



北陸新幹線の 最果ての聖地、 敦賀・若狭

2024年3月、ついに敦賀と東京が北陸新幹線でつながります。

古くは皇室や朝廷の台所として栄えた、若狭エリアもすぐそこに。ここには、さまざまな「あお」があります。枝葉が重なり合い雄大に広がる木々や草花の蒼。澄み切った空とつながる若狭湾の碧。三方五湖の海水と淡水が混ざりあい生まれる色とりどりの青。「あお」は、ときに幻想的な世界へと誘います。

その土地にまつわるいい伝えや伝承行事。神聖な空気に包まれた非日常体験。それもそのはず。敦賀・若狭には陰陽道ゆかりの地や様々な儀式が受け継がれてきた場所があります。鑑賞したり食したりでは終わらない、特別な何かを感じる事ができる旅が待っています。

豊かな自然の恵と出会い、人々と触れ合い、土地のことを知る。敦賀・若狭の旅は、あなたの「これから」にどのような変化をもたらすのでしょうか。

訪れた人全ての人の今日が、吉日になりますように。



明鏡洞/高浜町



SEE SEA PARK/おおい町



水島/敦賀市



田島の棚田/小浜市



夏

入り江の多い海岸地形は多様な風景を生み出します。若狭・丹後の総鎮守「青海神社」など、「青」は古の名前にも数多く見ることができ、若狭湾の「あお」は見る者の心を浄化し、明るく元気な気持ちにしてくれます。

①海と山が近くにあるのが若狭の特徴です。海は透明度が高く、SUP・ダイビングなどのアクティビティや魚釣りなど数多くの体験ができます。②浸食された岩肌の海岸が6km続く、若狭国定公園を代表する景勝地。遊覧船で間近に見ることができます。③高浜八穴と言われる海蝕洞のうち、最も大きな明鏡洞は、足利義光が立ち寄ったと言い伝えられています。④1年の折り返して、季節の変わり目である旧暦6月30日に心身の穢れを祓い清める神事です。⑤台風の多い時期に氏神に五穀豊穣を祈願する神事で、各所で奉納されます。⑥8月23日前後に行われる、「火まつり」のひとつ。家内安全・五穀豊穣・集落安全などを祈って、高い木の棒に、竹や藁で作った火受け(モジ)を取り付け河原に立て、松明を投げ入れる行事です。火防の神として信仰される愛宕神社への崇拝に端を発すると言われています。

八月〜九月
若狭おおいのスーパー大火勢(おおい町)
名越祓い・八朔祈禱祭(おおい町)
お盆
精霊船送り(美浜町・小浜市)
風祈能(若狭町)
二十日
風祈能(美浜町)
松上げ(小浜市・おおい町)

八月 木々の葉
落ち月

下旬
水無月祭(美浜町)

中旬
廣嶺神社祇園祭(小浜市)

弁天祭(美浜町)

七月 稲の穂が
実る月

三十日
氣比神宮夏越大祓(敦賀市)

中旬〜下旬
高浜七年祭(高浜町)
※七年に一回の開催

十五日
氣比神宮御田植祭(敦賀市)

十日頃
福井梅初出荷(若狭町)

六月 水の月



春

敦賀・若狭は梅が見ごろを迎え、お水送りが行われるとともに春が訪れます。各地では様々な祭りが行われます。

①毎年3月2日に、東大寺での「お水取り」に先立ち、二月堂にお供えする「お香水」を若狭から送る儀式が「お水送り」。鵜の瀬と東大寺若狭井は地下で繋がっているとされています。②半島が薄紅色にそまり、海の青とのコントラストを楽しむことができます。③北陸道総鎮守として、また越前国一宮として重要視されてきました。神域への入口大鳥居は、春日大社、叡島神社と並ぶ木造三大大鳥居で国の重要文化財。北側には主祭神が降臨したとされる「土公さん」がありますが、禁足地となっています。④金崎宮では男女がお互いの桜の小枝を交換し恋心を伝えあったことに由来する「花換まつり」が行われます。⑤若狭一宮は上社と下社(若狭姫神社)の総称で、祭神は山幸彦と豊玉姫です。共に海上安全、海幸大漁の守護神として信仰されています。⑥王の舞は敦賀・若狭の多くの神社で伝わる伝統芸能。邪気を払い村の安全と豊穣を願って春祭りなどで奉納されます。

三月 木草弥生い
茂る月

二日
お水送り(小浜市)
上旬
河原神社神事(若狭町)
若狭たかはま
ひなまつり(高浜町)

四月 卯の花の月

上旬
三方五湖開き
(美浜町・若狭町)
花換まつり(敦賀市)

中旬
和久里壬生狂言(小浜市)

五月 早苗を
植える月

王の舞群
(敦賀市・小浜市・美浜町)
彌美神社・推村神社
織田神社・
信濃貴彦神社・
久豆弥神社

三日
子供歌舞伎(美浜町)



4 日向の水中綱引き



2 星祭り(土御門神道)



5 御食国



3 八百比丘尼入定の洞穴(空印寺)



6 福井県年縞博物館



1 鯖街道(熊川宿)

冬

若狭は、奈良時代には天皇や貴族の食を支えた御食国(みけつくに)となりました。そしていつしか聖なる食を育む国として、不老長寿伝説を生み出します。歴史に思いをはせながら、日本の食文化を再発見しませんか。

①若狭は、古代から大陸からの海の道と都へつながる陸の道が結束する拠点となった地であり、「鯖街道」と呼ばれるこの街道群では祭礼、芸能、文化が広く伝播・発展し、現在も息づいています。②陰陽師「安倍晴明」の子孫である「土御門家」が戦火を逃れ道場を開いた地が若狭国名田庄。現在でも儀式が行われています。③人魚の肉を食べ、永遠の若さを得た八百比丘尼。その伝説は様々な形を変えて全国に伝わっています。小浜はその発祥の地とされ、周辺にはいくつもの比丘尼像や由緒地が残されています。④真冬の冷たい水の中に飛び込んで糞綱を引き、豊漁と豊作を祈願する伝統の神事。糞綱の両端に取り付いた男性たちが、凍える手で太い綱を引っ張り、ほどく速さを競い合います。⑤飛鳥・奈良時代から朝廷に食料を献上してきた「御食国」。豊かな食材を都に運び、都の食文化を支えてきました。現在でも関西では「若狭もの」「若狭の美物」と珍重されています。⑥三方五湖のひとつ水月湖の底には、毎年1層づつプランクトンの死骸、花粉、黄砂が堆積します。現在7万年分の層が形成されており、各年の自然環境を知る手がかりとなっています。



4 敦賀まつり(氣比神宮)



5 御船遊管絃祭(おふなあそびかんげんさい)



6 日引の棚田



2 木造十一面観音菩薩立像(羽賀寺)



3 放生祭(八幡神社)



1 明通寺

秋

若狭の人々は豊かで穏やかな自然を信仰し、それが仏教と習合し、信仰心をはぐくんできました。荘厳な寺院だけでなく、集落のお堂も祈りの場として人々により守られ、現代に受け継がれています。黄や紅色にそまる日本の原風景をめぐってみませんか。

①都とのつながりが強かった若狭には多くの寺院が建立されました。大きな戦に遭うこともなかったことから現在も国宝や重要文化財を中心とした古刹や仏像が現存しています。②若狭のみほとけは奈良や京都との影響を受けて作られ、現在に伝えられています。その数も種類も豊富で、その姿は長年の往来の歴史を語り掛けます。③24の区が隔年で12区ずつ、御神輿のほか、山車(囃子)、神楽(太鼓)、棒振り太鼓、三匹獅子舞の4種類の芸能を奉納します。若狭地方最大の秋祭りです。④「氣比の長祭り」と呼ばれ、期間は2週間に及びます。6基の山車を中心に氏子各町の神輿が市内を巡幸します。⑤南朝の皇子が敦賀湾に浮かべた管絃船に紅葉や夕月を鑑賞した故事に由来する御船遊管絃祭が行われます。⑥若狭湾に沿って棚田が広がります。棚田と海が作り出すコントラストは美しく、四季折々の風景が楽しめます。

九月 夜が長い月

上旬 八朔祭(美浜町)

二日~十五日 敦賀まつり(敦賀市)

中旬 放生祭(小浜市)

中旬 相撲甚句(敦賀市)

中旬 赤崎獅子舞(敦賀市)

十月 神々が留守に
なる月

十日ごろ 遠敷祭(小浜市)

十四日 新宮神社例大祭(高浜町)

十二日~十三日 佐伎治神社例大祭(高浜町)

十七日 青海神社秋季例大祭(高浜町)

二十日 金崎宮(御船遊管絃祭)
(敦賀市)

十一月 霜の降る月

六日 越前ガニ漁解禁
(敦賀市・小浜市など)

二十日 せんべい焼き(敦賀市)

十二月 師走り
回る月

たたく網漁(若狭町)

上旬 おしたきんど(若狭町)

上旬 山の神講(やまのかんこ)
(敦賀市)

十二月~一月 若狭かれい皇室献上(小浜市)

一月 睦びの月

元日 氣比神宮若水祭(敦賀市)

中旬 敦賀西町の綱引き(敦賀市)

中旬 水中綱引き(美浜町)

下旬 野坂だのせ祭り(敦賀市)

二月 衣更着の月

星祭り(小浜市・高浜町・おおい町)

土御門神道
中山寺
飯盛寺

十一日 青海神社柴の実入れ(高浜町)